

# 学校だより



学校評価2号  
平成28年2月24日

## 学校関係者評価の結果をお知らせします

学校関係者（学校評議員、民生委員）の皆様からいただいた評価結果を集計しましたのでお知らせします。

対象：学校評議員、民生児童委員のみなさん（回収18名）

A：大いにそう思う B：そう思う C：そう思わない D：全くそう思わない

		A	B	C	D
1	子どもたちは、勉強や運動などに楽しく取り組んでいる。	5	13	0	0
2	子どもたちは、友達と仲良く協力して生活している。	4	14	0	0
3	子どもたちは、友達や先生、地域の方々に進んであいさつができています。	4	11	3	0
4	子どもたちは、友達や先生の話、目、耳、心で聴くことができています。	2	15	1	0
5	学校は、家庭や地域の方々と連携がとれている。	2	16	0	0

### ◇学校や地域での子どもたちの様子で、よいあらわれや気になることなどがありましたら教えてください。

- あいさつの様子ですが、以前よりも、益々立派になり、素晴らしいことです。あいさつをされると、その日の活力になり、またがんばれる気がします。ありがとうございます。
- 学校の重点目標であいさつについてあげられているので、とても気持ちの良い元気なあいさつが返ってくるのはうれしいことです。
- 中学生は道路を両側通行し、車の通行時ときどきですが、小学生は、グリーンベルトを（多少広がりがありますが・・・）歩くので良いことですね。
- 私の居住の地域では、分譲地が多く、またアパートもでき、若い人たちが増えました。子どもたちの明るい声が多く聞こえる今頃です。特別注意をするような遊びもせず、穏やかに過ごしていると感じます。
- 子どもたちはとても元気にあいさつをしてくれます。「いつもありがとう」私から見る大勢の子どもたち、子どもたちから見る一人のおばさんですが、おばさんのこともよく見てくれて感謝です。
- 朝のあいさつの時、校門で低学年の男の子が、朝見つけて持っていたカタツムリを見せてくれました。私は虫が苦手なのですが、興味を装って感心してましたら、「あげるよ。」と言ってきました。これはとても無理なので、断ると不思議な顔をして「どうして？」と言いました。正直に本当は苦手なことを言うと、「へえ～。これが怖いので・・・。」と言われましたが、一年間あいさつ運動をしてきた中で、優しい男の子の心に触れた思いがしました。
- 南小学校の子どもたちは、確かにあいさつは大声でします。これは市内を廻ることがありますが、比較しても素晴らしいことですね。
- 朝の登校時、交通安全の見守りで、横断歩道の所に立っていますが、言ったことやお願いしたことをしっかり守り、安全登校ができると思います。
- 子どもたちはよくあいさつをしてくれます。感じが良いです。
- 活動の様子を見ていると、集中力がある子が多いように感じます。また、話を聞く時とふざける時のメリハリがあり、先生方の日頃の御指導の賜物だと感じております。

- あいさつについては、自ら進んであいさつできる子どもは大目で2割、あいさつを返すことができる子どもは6割、できない子どもは1割、全く無視している子どもは1割。
- 道路(車道側)と歩道側の境界ブロックの上を歩いていて、バランスを崩し、道路(車道側)に着地することが見受けられます。車の往来がある時、ヒヤッとさせられます。
- あいさつは、子ども一人二人では、子どもの方からあいさつしますが、集団(5人以上)では、大人からあいさつしても全く返事がない子どもがいます。
- 登下校時等、友達と歩いている時、2・3列で歩き、左側を歩くケースが多く感じられます。安全のためによく注意してほしい。
- 家の外で遊んでいる子が少ない。家の中でゲームをしている。友達の家の中で、3・4人集まってゲームをしている。
- 自転車などで走っていると、まだまだ道路いっぱいに広がって歩いている姿をよく見かけます。自転車とは言え「車」の一種なので、ヒヤッとすることも多くあります。気を付けた方が良いでしょう。

◇子どもたちがよりよく伸びていくために、学校への要望がありましたらお書きください。

- ・朝、学校に訪問することがあるのですが、良い歌声が聞こえてきて、ステキだな・・・と思います。クラスみんなの声が一つになり、子どもたちのステキな伸びやかさを感じます。
- ・先日、学校へ伺った時のことですが、校長先生始め、先生方また子どもたちにあいさつをたくさんいただき、とても気分良く、満足して帰ってきました。これからも続けてください。
- ・子どもの小さな発見、驚きを共有できるゆとりある時間を見つけて、大切にしてほしいです。どんな夢に行き着くのか楽しみです。
- ・運動場の周辺の美化に地域、行政を巻き込み、推進したいと思います。例えば、遊具の台数の増加はもちろん、安全美化、北側にあるコンクリート壁、校舎南の植え込みの美化を。
- ・家でのゲームTV等の時間についての指導を検討していただきたい。
- ・小さな成功体験をたくさん積み重ねてあげてほしいと思います。
- ・学校というよりむしろ家庭ですが、あいさつが気持ちよくできる子どもは、将来何の心配もありません。あいさつを返すことができる子どもも、ちょっとしたきっかけで進んであいさつできるようになると思います。そうでない子どもが2割くらいあるのは、まだまだ継続した運動が必要だと思います。

学校評議員、民生委員、主任児童委員のみなさんから、たくさんの御意見をいただきました。あいさつについては、ほめていただきとてもうれしく感じています。富士南小学校の伝統になるように今後も指導を続けていきます。

登下校に関しては、横に広がって歩いたり、追いかけてっこをしながら帰ったりする様子が見られます。御家庭でも、繰り返し、安全な登下校の仕方について話し合ってみてください。

学校と家庭だけでは、子どもたちの安全を守ることが難しい時代になっています。子どもたちが安全に生活できるように協力して下さっている地域の方々があります。これからも、学校と家庭、地域の皆さんと連携して子どもたちの教育に取り組んでいきたいと思っています。